

派生開発カンファレンス2024

プロセスフロー図を 海外で紹介してみた

スパークスシステムズ ジャパン株式会社
河野岳史

はじめに

清水さんが考案したUSDM/XDDP/PFDは海外での認知・利用は限定的と思っておりますが日本以外でも有用であり、単に「知らないだけ」と思います。

その思いが正しいかどうかをPFDを海外に紹介し、確認してみました。

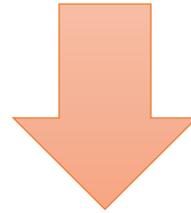
本日はその活動結果を共有したいと思います。



日本以外でも有用である証拠の一例:
AFFORDDサイトの
「第5回世界ソフトウェア品質会議(5WCSQ)において
XDDPを扱った論文がBest Paper Awardを獲得しました!」より

問題点・方針

英語が苦手(嫌い)&英語能力がない



「重要なこと」
かつ

「僕の英語能力でも伝わる可能性があること」

だけに絞り込むことで
感覚的に良さを理解してもらう

なぜ発表したのか

- 有用なものを少しでも広めたい
- イベントに参加するのであれば何か発表した方がよい

なぜPFDを選んだか

- 比較的わかりやすい
 - 目で理解できる
- 比較的応用範囲が広い
 - 業界・領域に依存しない
- 個人でも使い始められる
 - 既存のプロセスや成果物と競合しない
- たぶん知っている人がいない
(ので興味を持ってもらいやすい)
- 発表場所がツールに関連するイベントなので、
ツールに直接関係することが必須

発表場所

- 2023/6 Enterprise Architect User Group (Reading, UK)
 - Visualise your process to use Enterprise Architect effectively
- 2023/9 EA Global Summit (オンライン)
 - Find your best process with the Process Flow Diagram

雰囲気 (Enterprise Architect User Group)



発表内容

1. 記法

- プロセス同士はつながらない
- プロセスの明示的な順序はない

2. 最終成果物から考える

- 既知のプロセス情報を排除
- ドキュメント化されていない情報の発見

3. 変え続ける (ための道具)

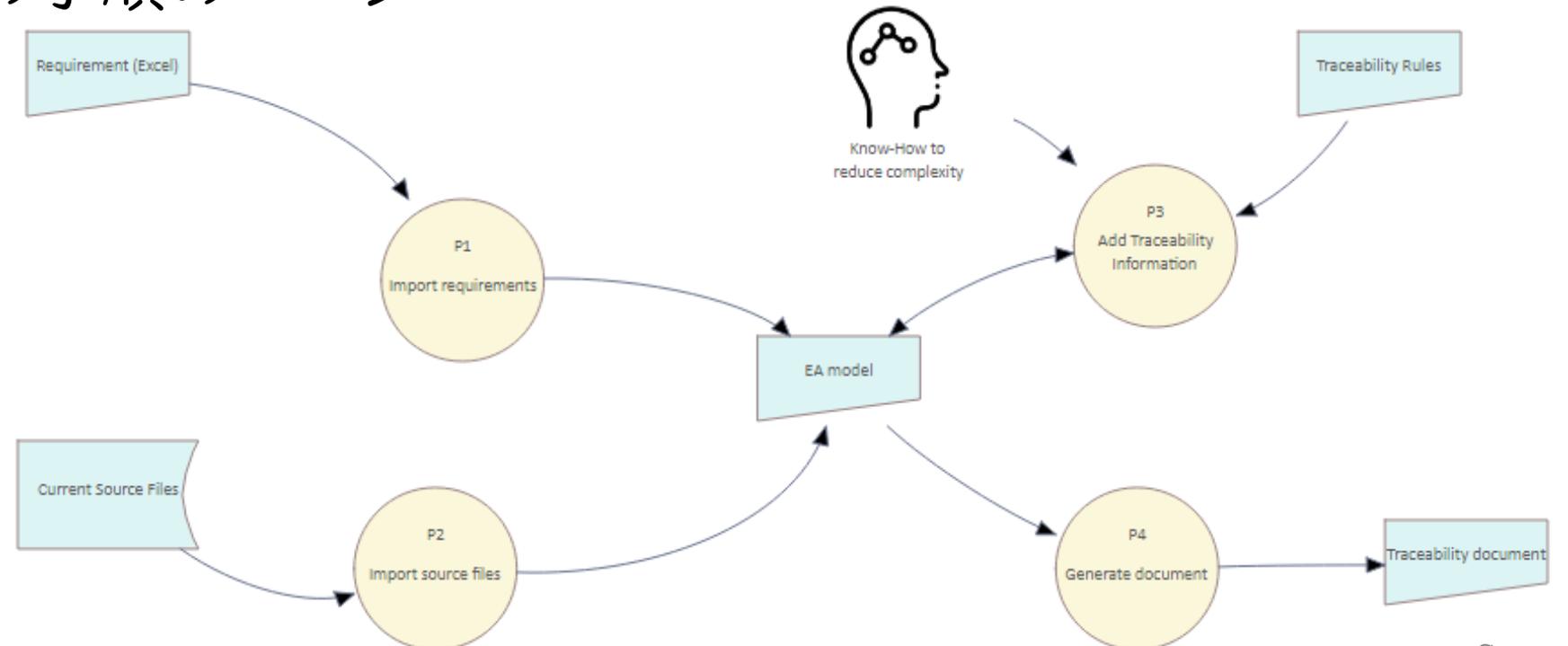
- PFDが書けたら終了、ではない

4. ツールでの操作方法

- ツールのユーザーイベントなので...

事前準備

- ツール用のプロファイル (≡図形と外見の定義)
 - 無形成果物のアイコン  は変更
- 利用するための手順のページ



得られた反応

- User Groupの参加者数は20名弱（全体で80名くらい?）
- Global Summitの動画の再生回数は約750回+約60回
- 前述のプロファイルのダウンロードは累計で100件程度

主な質問・コメント

- BPMNとの違いは？
- 他に類似の記法はあるか？
- PFDをより深く学ぶための情報源は？
- シミュレーションはできるか？
- 興味深いアプローチです。今後も継続的な情報提供を期待します。
- 現在SIPOC図を利用しているが、今回のPFDの方がシンプルで使いやすそうです。

まとめ

- PFDの価値・良さが伝わったかは不明
- PFDが広まったか、今後広まるかは不明

- 広めるためには、以下が必要
 - 日本語以外(≒英語)のある程度詳細な情報源
 - 対応窓口
 - 継続的な情報発信

ご清聴ありがとうございました!

(時間があれば)宣伝

6月26日(水)のランチタイムに、オンラインセミナーを開催します!

- モデルとテストの連携
- モデルと生成AI(のLLM:大規模言語モデル)の連携

事前登録なし・無料で誰でも参加できます。

詳細(当日の参加URL・パスワード)は弊社のWebサイトをご覧ください!